

この度は、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。この「取付説明書」をよくお読みの上、正しく安全に作業を実施してください。また、取り付け上の理由、要因により発生した事故やトラブル、製品不具合等については、弊社は一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。尚、本説明書は、製品を取り付けたあとも大切に保管してください。

**注意事項** **▲注意** 必ずお守りください！

- 指定車種以外への取り付けは絶対に行わないでください。製品の破損や車両事故を起こす原因となります。
- 本製品の分解や加工等は絶対に行わないでください。製品の破損や車両事故を起こす原因となります。
- 水平な場所で輪止め等を使用して車両を確実に固定したうえで作業を行ってください。車両が動き出し事故を起こす原因となります。
- エンジンを停止し、エンジンキーを抜いて作業を行ってください。
- エンジンが十分に冷えてる(40度以下)ことを確認してから作業を行ってください。事故や火傷を起こす原因となります。
- 安全のため、バッテリーのマイナス端子を外して作業を行ってください。尚、バッテリーのマイナス端子を取り外すと盗難防止の安全装置等が作動する車両がありますので、車両マニュアルや車両整備書に従って作業してください。
- エンジンを始動する場合は、換気の良い場所で行ってください。排気ガスにより酸化炭素中毒になる恐れがあります。
- 本体やワイヤーハーネスは、マフラー等の高温部、燃料ホースやブレーキホース等に固定・配線しないでください。製品破損や車両火災、事故の原因となります。
- 本製品の取り付けは、整備資格を有する工場やプロショップ、又は整備資格を持った方にお願いしてください。
- 点火時期やブースト、燃調等を変更している車両は、本製品装着後に再調整を行ってください。エンジンを破損する原因となります。
- 本製品はエンジンの不調を補修するものではありません。取り付け前にエンジン作動が正常であることを確認し、不具合がある場合は修理をしてから本製品の取り付けを行ってください。
- 本製品に異常があった場合は、本製品の使用を止め、お買い上げの販売店、または弊社までお問い合わせください。

**構成部品 エアコンあり 品番:**

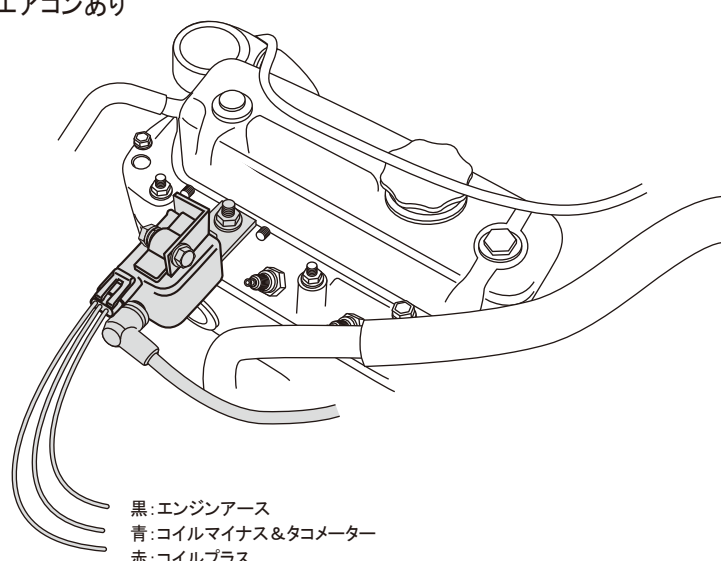
①プラズマコイル本体:1	②センターコード :1	③ハーネスAssy :1	④丸型端子(8mm) :1	⑤六角ボルト M6x35 :1	⑥六角ナット M6 :1
	⑦ワッシャー M6 :2	⑧スプリングワッシャー M6 :1	⑨コイルブラケット :1	⑩圧着端子 オス :3 2個は予備	⑪圧着端子 メス :3 1個は予備
⑫絶縁スリーブ :3					

**構成部品 エアコンなし 品番:**

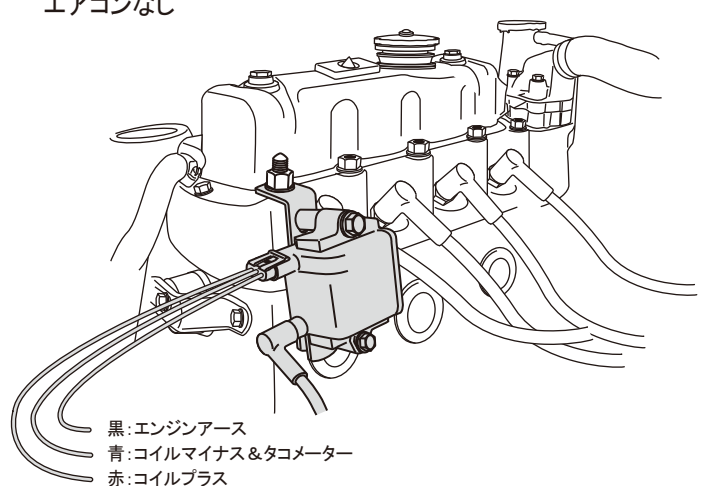
①プラズマコイル本体:1	②センターコード :1	③ハーネスAssy :1	④丸型端子(8mm) :1	⑤六角ボルト M5x55 :2	⑥六角ナット M5 :2
	⑦ワッシャー M5 :4	⑧スプリングワッシャー M5 :2	⑨スペーサ :2	⑩圧着端子 オス :3 2個は予備	⑪圧着端子 メス :3 1個は予備
⑫絶縁スリーブ :3					

**取り付け概要**

**エアコンあり**



**エアコンなし**

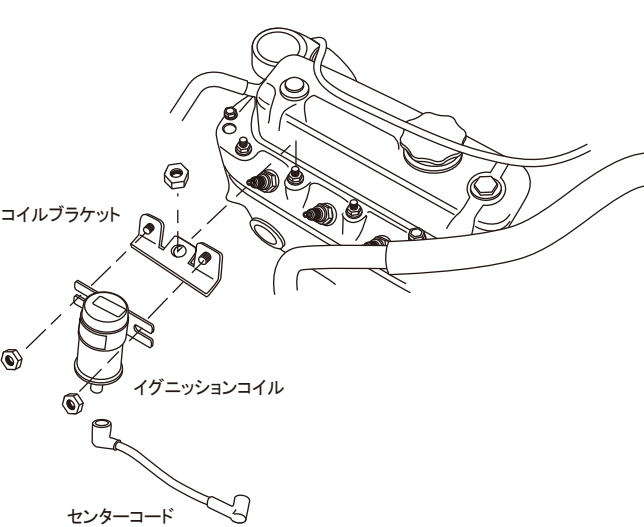


無断転載を禁じます

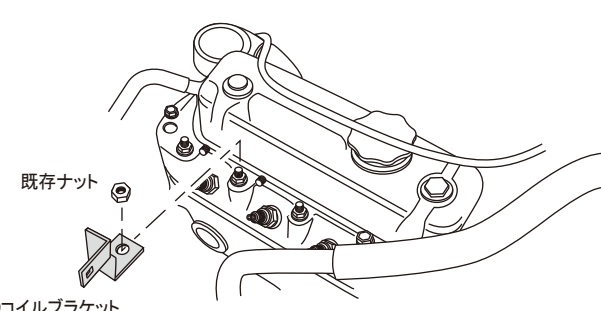
**取り付け手順**

**エアコンあり**

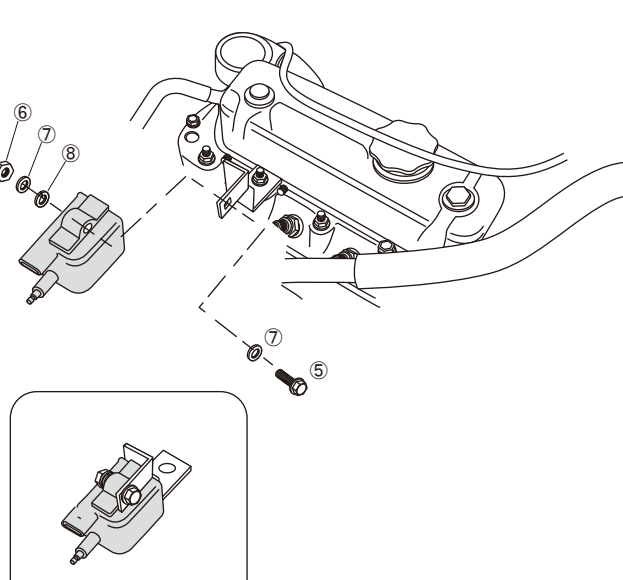
**1** 図を参考にして、センターコード、コイル配線、イグニッションコイル、コイルブラケットをそれぞれ取り外してください。コイル配線を取り外す際は、取り付け時に間違えないように、プラス・マイナスのそれぞれの配線の色などをメモしてください。



**2** 図を参考にして、⑨コイルブラケットを取り付けてください。

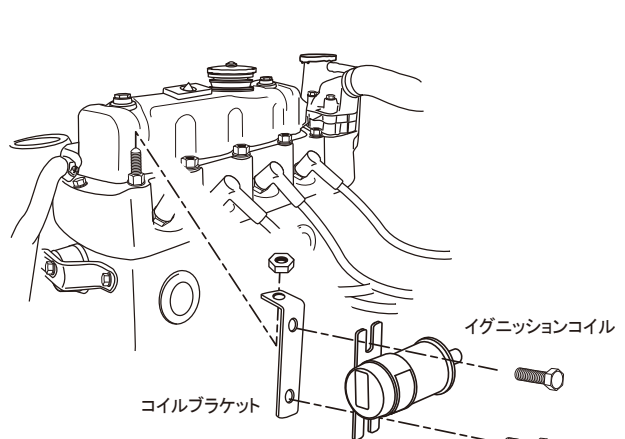


**3** 図を参考にして、①プラズマコイルを取り付けてください。

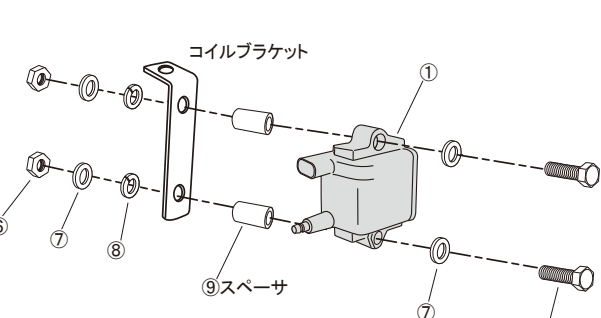


**エアコンなし**

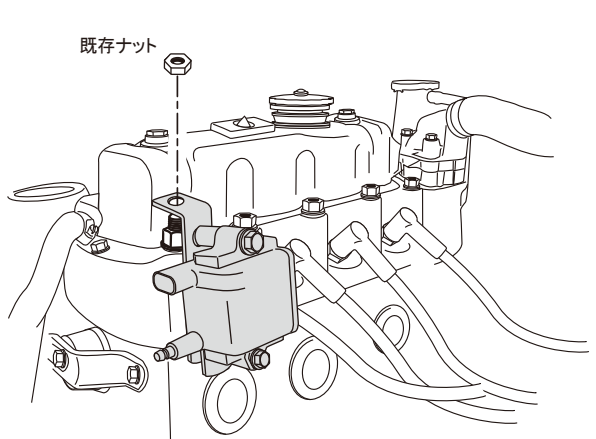
**1** 図を参考にして、センターコード、コイル配線、イグニッションコイル、コイルブラケットをそれぞれ取り外してください。コイル配線を取り外す際は、取り付け時に間違えないように、プラス・マイナスのそれぞれの配線の色などをメモしてください。



**2** 図を参考にして、①プラズマコイルをブラケットに取り付けてください。



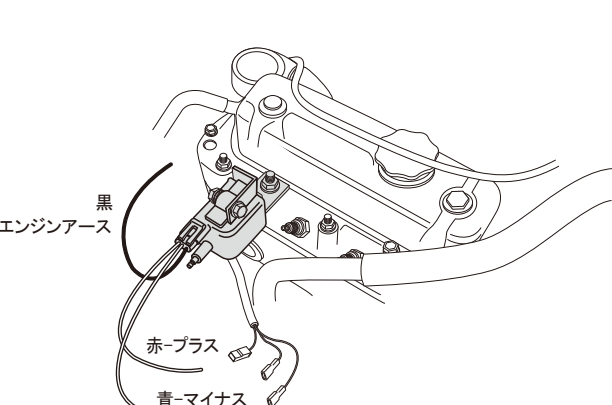
**3** 図を参考にして、①プラズマコイル&ブラケットをエンジンに取り付けてください。



無断転載を禁じます

**ここからは、エアコンあり、なし共通の作業です。**

**4** ③ワイヤーハーネスAssyのコネクターをプラズマコイルに取り付け、手順1で取り外した配線までの長さを決めてください。(必要に応じてカットしてください) 赤ワイヤーがコイルプラス、青ワイヤーがコイルマイナスです。黒ワイヤーはエンジンアースです。



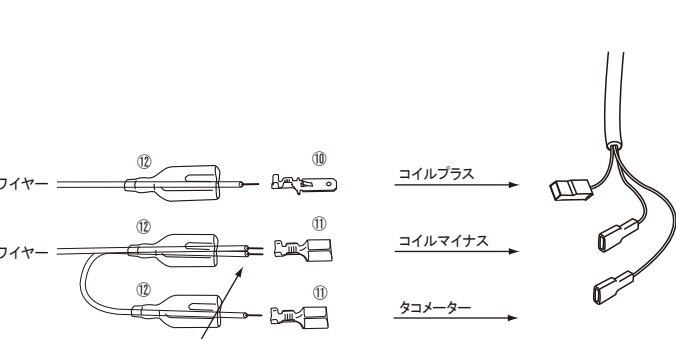
**▲注意** 必ずお守りください！

ワイヤーハーネスはエンジン、マフラー周辺の高温部、及び燃料ホース・パイプ等の燃料系統付近に固定しないでください。製品破損や車両火災の原因となります。

**5** 図を参考にして圧着端子をそれぞれ取り付けてください。

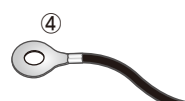
**既存の接続端子を使用する場合**

ワイヤーハーネスAssyの青ワイヤーを約5cmカットし、タコメーター用の配線にして下さい。

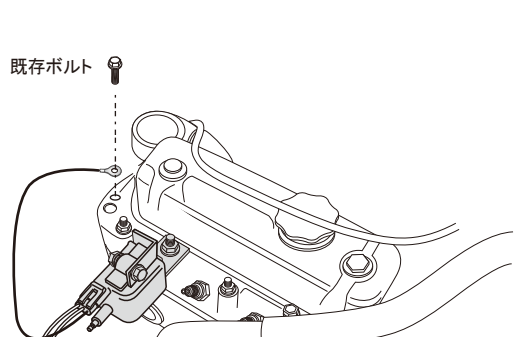


※オープンプラグ用(ギボシ端子用) 工具をご使用ください。

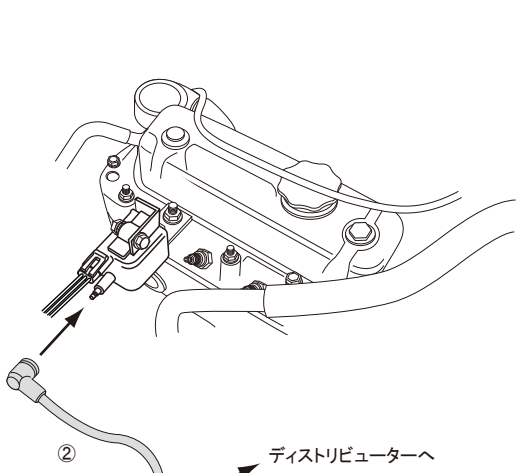
**6** プラズマコイルのアース(黒ワイヤー)を取ります。黒ワイヤーの長さを必要に応じてカットし、④丸型端子をプラズマコイルの黒ワイヤーに圧着してください。



**7** 丸型端子をエンジンに取り付け(アース)てください。



**8** ②センターコードを取り付けてください。



**▲注意** 必ずお守りください！

センターコードはエンジン、マフラー周辺の高温部、及び燃料ホース・パイプ等の燃料系統付近に固定しないでください。製品破損や車両火災の原因となります。

**9** 今一度、取り付け状態や、他の部品への干渉、ワイヤーハーネスの取り直し等を確認して下さい。

**10** エンジンを始動して、異常の無いことを確認して下さい。

無断転載を禁じます